

# 令和5年度使用教科書の採択結果及び採択理由一覧

大阪教育大学附属天王寺中学校

令和5年4月1日現在

科目	発行者の略称	採 択 理 由
国 語	教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語感覚を豊かにするための具体的教材が豊富で、実生活に生きる力を目指す本校の教育に適する。</li> <li>・言語を活用する協働的なさまざまな活動事例が示されている。</li> </ul>
書 写	東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書写に対する心構えや目標が明確に説明されており、また、毛筆楷書の基本点画についてわかりやすく示され手本や解説と併せることで美しく文字を書く学習が進めやすい。</li> <li>・中学校で初めて学習する行書が漢字の変遷とともに図解されており、学習の意義を同時に理解できる。</li> <li>・「用紙や用具について」「生活の中の書」等の発展的資料により、書写に対する興味を様々な視点から深めることができる。</li> </ul>
地 理	帝 国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域の地域的特色や背景の説明が詳細で、それを説明する写真や統計資料も豊富である。</li> <li>・各地域の特色をさまざまな地理的事象から多面的に考察し、地域に関する地理的認識を養うことに重きを置く本校の教育に適する。</li> </ul>
歴 史	帝 国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・為政者だけでなくさまざまな立場の人々の視点を取り入れた構成になっており、多面的・多角的な見方や考え方を促す工夫がされている。</li> <li>・地域史や世界史を図版、地図、年表などと共に掲載し、日本の伝統や文化を尊重するだけでなく国際社会を尊重する姿勢を涵養する内容となっている。</li> <li>・単元の見通しや振り返りを行う課題が示され言語活動の充実や歴史を大観させる機会となっている。</li> </ul>
公 民	帝 国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な題材から学習内容につなげる工夫が随所になされており、実社会で生きる学力を養うことができる。</li> <li>・グローバルな視点から考える教材が多く取り入れられており、社会科の学習のまとめとして使いやすい。</li> <li>・立体的な知識から公正な判断力を身に付け、自らの考えを社会に発信していく力の育成に重点を置く本校の教育に適する。</li> </ul>
地 図	帝 国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域の基本図に加え、主題図・資料図も豊富に掲載されているため、世界的な視野で日本をとらえやすい。</li> <li>・地理的事象を多面的・多角的に考察しやすい構成が、各地域の特色をさまざまな地理的事象から多面的に考察し、地域に関する地理的認識を養うことに重きを置く本校の教育に適する。</li> </ul>
数 学	大日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随所に説明する活動や互いの考えを紹介しあう活動を取り入れており、問題解決の過程で他者とのコミュニケーションを学べるようになっている。</li> <li>・章末、巻末において学習した内容と日常生活との関連が図られており、生徒が興味・関心をもって学んだ知識を活用しようとする工夫がなされている。</li> </ul>
理 科	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察実験の前段階で学習課題が常に明記されており、学習者自らが到達目標や学習の見通しを立てるのに秀でている。</li> <li>・本文の解説が「読むだけでわかる」記述となっており、思考と一体化した表現の指導を行う際に、生徒に参照させるなど、使いやすい内容である。</li> </ul>
音 楽	教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、様々な音楽的視点からのアプローチがなされた構成となっており、生徒が主体となって音楽表現を創意工夫することができる。</li> <li>・それぞれの単元で、学習目標が具体的に示され、学習者が常に到達目標を意識しながら活動することができる。</li> </ul>

器楽	教芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な楽器の特徴や奏法が、絵や写真を多く用いて詳しく説明されており、段階的に習得し、表現に繋げることができる。</li> <li>・アンサンブル教材も多く掲載されており、教材ごとに目標が具体的に示され、学習者が常に到達目標を意識しながら活動することができる。</li> </ul>
美術	日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中で造形や美術と豊かに関わる力を養う図版が豊富であり、題材ごとに「学びのねらい」を示し、学習のねらいが明確に説明されることで題材理解が広がり、深められやすい。</li> <li>・校種間での連携を意識し、生徒の発達特性や連続性に配慮した点が、主体的に造形活動に取り組む力を目指す本校の教育に適する。</li> </ul>
保健体育	大修館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やってみよう」で、活用を通して、学んだことを自分の生活と関連付けて考えることができる内容が盛られている。</li> <li>・写真やイラストなどを「図」として、本文に関連付けて複数提示し、生徒が興味、関心を持って学習を進めることができるよう配慮されている。</li> <li>・大単元で「学習のまとめ」を設け、学んだ内容とともに、関連するページを記載し、学習の振り返りができるようになっている。</li> </ul>
技術	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ものづくり」「エネルギー変換」「情報」「生物育成」の4つの分野とも、解説が丁寧で、実習題材も現場で採用しやすい物が多いため採択している。</li> </ul>
家庭	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元で目標が明確に示されており、時代に即した資料やコラムが掲載されている。</li> <li>・単元ごとに、生活を振り返り課題を考えさせる構成になっておりグループワークの展開も授業者が見通しを立てやすい。</li> </ul>
英語	三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中1のスタート段階では、小学校での既習事項を活かした聞く話す活動から文法指導へのテキスト構成であったり、ページレイアウトの工夫がされており、生徒が無理なくスムーズに中学校の英語学習にシフトすることができる。</li> <li>・各パートが、それぞれ4技能5領域によって分けられており、授業によって身に付けさせたい力が明確でわかりやすい。</li> <li>・言語活動やそれに関する資料(デモ動画やワークシート)が充実しており、対話的な学びや深い学びのある授業を展開するには最適である。</li> </ul>
道徳	日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで実践してきた文部科学省の道徳教材が豊富に含まれている。</li> <li>・本校の卒業生や学校行事と関連する作品の記載がある。</li> <li>・価値認識、自己認識、自己展望につながる発問が設定されている。</li> <li>・問題解決を意識する授業展開が期待できる。</li> </ul>